

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立友和小学校	校長氏名	熊谷 裕之	生徒指導主事氏名	田邊 由貴子
-----	------------	------	-------	----------	--------

取組事例名 『つながりを深めるデー』**取組のねらい『キーワード 人間関係を深める』**

小学生と中学生が交流することで児童生徒同士の人間関係を深めるとともに、6年生児童の中1ギャップを解消し、中学校へのスムーズな移行につなげる。

取組の具体的内容『キーワード 中学校への展望を持つ』

1時間目に「つながりを深めるデー」のはじめの会をして、あいさつや班編成、自己紹介、集団ゲームなどをした。中学生と一緒に集団ゲームをすることにより、中学生と仲良くなることができた。2時間目に中学生が小学生の授業のサポートをした。中学生に学習のサポートをしてもらうことで、中学生に対してあこがれの気持ちをもつことができた。3時間目に6年生と中学生と一緒に小学校の校内を掃除した。(雨天のため、校外を掃除する予定が、校内を清掃することに変更になった。)一緒に掃除をすることでつながりを深めることができた。5時間目に中学校への展望を持つということ、中学生が中学校生活について説明をした後、6年生の質問に答えた。中学校生活について知ることができ、中学生になるのが楽しみになったという児童もたくさんいた。

取組の課題・創意工夫『キーワード はなまる』

取組の課題は、ちょうど梅雨時期のため、雨が降り、外での掃除をすることができなかつたことがあげられる。創意工夫は、中学生にサポートをしてもらえる授業内容を工夫したことがあげられる。算数では、たし算やひき算のひっ算を中学生が一人一人に指導してくれた。赤鉛筆をもって、はなまるなどもしてくれて、中学生と小学生の良好な関係を作ることができた。

取組の成果(効果)『キーワード 良好な関係』

中学校3年生の生徒が、先輩として出身小学校の児童の活動をサポートすることを通して、思いやりの気持ちと態度を育てることができた。また小学生は、中学生に学習をサポートしてもらうことで、中学生に対して尊敬の気持ちをもつことができ、中学生と良好な関係を作ることができた。

今後の展開『キーワード 小中連携』

今後も電話や合同部会の会議で、こまめに情報交換をしていき小中連携を密にしていく。児童や生徒の遅刻や早退、欠席の状況などを共有し、6年生がスムーズに中学校へ行けるようにしていきたい。また入学説明会での体験授業や部活動の体験活動も大切にしていきたい。

他校へのアドバイス『キーワード 自己有用感を育てる場』

中学生が出身小学校を訪れる機会があると、教職員が成長した姿を見ることができる。また、中学生にとっても出身小学校を訪れる機会があると、小学生に学習を指導したりして、自己有用感を感じることができる。中学生と小学生の自己有用感を育てる場として、「つながりを深めるデー」のような企画を計画することをお勧めします。

「つながりを深めるデー」写真



「つながりを深めるデー」児童の感想

- ・「つながりを深めるデー」の1日は、中学生の人からいろいろな事を学びました。たとえば、中学生になると勉強が難しくなることが分かりました。中学生が来てくれたことで、中学校に行くことが楽しみになりました。ぼくが中学生になる時は、三年生の人はいなくなるけれど、ぼくたちが三年生になったら、今日中学生がしてくれたみたいに優しくしてあげたいなと思いました。
- ・「つながりを深めるデー」は、中学生といっしょに「来い来い」ゲームをしたり、給食を食べたり、佐伯中学校について学んだりしました。そのおかげで、中学校三年生と仲良くなることができました。ぼくが一番心に残ったことは、教科により先生が変わることや、制服のイメージは、自然の森ということです。佐伯中学校も楽しそうだなと思いました。
- ・今日は、佐伯中学校の三年生のみさんから佐伯中学校の事についてたくさんの事を学びました。給食の事や下校時刻の事など、わたしの知らない事をていねいに教えてくださいました。そうじの時間では、みんなのリーダーとなり、そうじの指導をしっかりしてくださいました。授業で分からない所があったら分かるまで教えてくれたので、よく分かりました。分かった時はとてもうれしかったです。今日学んだ事は、これからの小学校生活と中学校生活に生かしていきたいです。